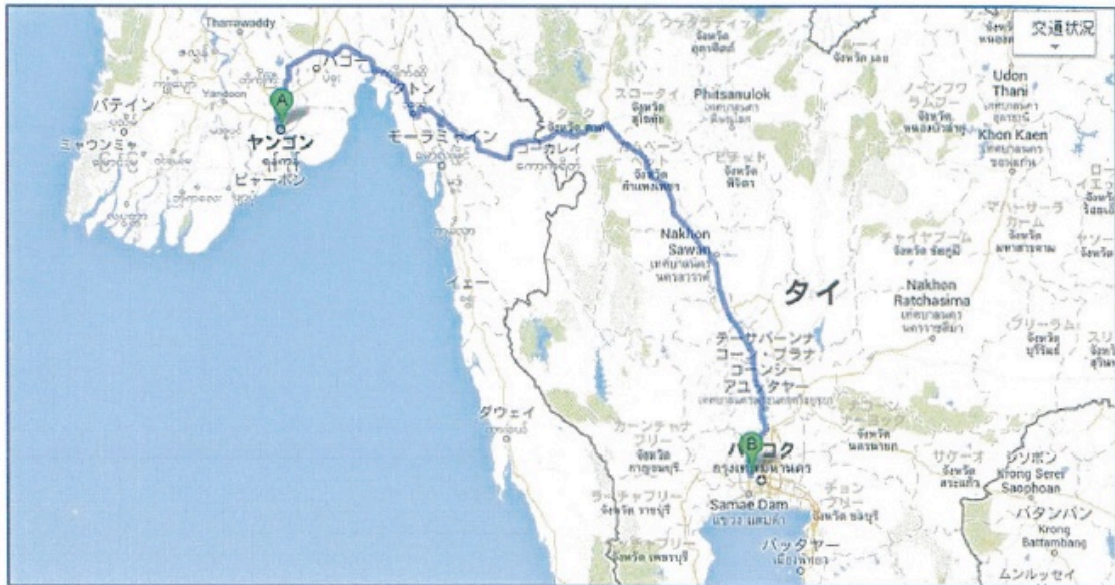


タイ - ミャンマー間の国境陸送物流に風穴

～実証走行を重ね、圧倒的低価格で安定した混載物流を提供。3～4日での輸送が可能に～

南海通運株式会社(本社:大阪府泉大津市、代表取締役:川端 敏彦)は、タイ(バンコク)からミャンマー(ヤンゴン)への国境陸送混載便の業務を2015年4月1日より開始いたしました。これまで危険・高価・不安定と考えられていた国境陸送物流において、6年にわたる実証走行を重ね、さらにミャンマーに物流子会社を設立したこと



により、バンコクからヤンゴンまで、小ロットかつ圧倒的低価格で安定した早い物流を確立しました。

■ 中小企業が安心して利用できる混載物流

タイからミャンマーに入る国境陸送ルートに関し、当社の特徴は、大型物流でなく、中小企業も安心して使える混載物流に焦点を絞っている点です。6年前より国境物流に関わり、その後ヤンゴンに中小企業向けのビジネスサポート会社と物流子会社を設立。現地の会社や組織との様々なつながりにより人的コネクションを形成し、タイ及びミャンマーで国境物流を主に営業する会社と業務提携を進めてきました。



<タイ-ミャンマー間国境>

国際一貫物流のノウハウと、タイ・ミャンマーの国境陸送物流の先駆けである点を強みに、ミャンマーで製造・ビジネスを考えている日本企業または日系企業に、安定した物流を提供します。

■安定的・安価・早い物流を可能に

タイからミャンマーに物を運ぶ場合、海上コンテナ輸送、航空便輸送、国境陸送の3種類が考えられますが、海上コンテナは安いですが日数がかかり、航空便は早いですが価格は高く、国境陸送は比較的早いですが、安全性や安定性に欠けるわりに価格が高く商業ベースに乗らないというのが一般的な認識です。

＜タイ-ミャンマー間物流の一般的な認識＞

	価格	日数
海上コンテナ輸送	安い	約2週間
航空便輸送	高い	1～2日
国境陸送	高い	4～6日

そんな中、当社では長期にわたる調査・トライアルを繰り返し、国境陸送混載便は小ロットの貨物に対して価格



的にも納期的にも非常に魅力的であるという結論を出すに至りました。

タイからミャンマーに入る国境陸送ルートのうち、東西経済回廊としてメソット～ミャワディルートは現在バイパス建設も進んでいます。バンコクからヤンゴンまでドアツードアで3～4日で配送し、料金も船の混載便より安く提供できます。(重量物、精密機械、危険物等は別途お問い合わせ下さい)

現在、日本、タイ、ミャンマーに受付窓口を設けており、ミャンマーからタイへの逆方向の国境物流に関しても準備を進めています。

ンマ

＜山岳部バイパス道建設状況＞

■今 後の展望について

近年注目を集めるミャンマーは、民主化の加速や欧米の経済制裁解除の方向に進んでいることから、日本国も経済・技術援助に力を入れています。勤勉で温厚な民族の評価は高いものの、インフラの脆弱さと、大半の資材・技術を海外からの輸入に頼らなければならない環境から、実際の進出・ビジネスに二の足を踏む企業も少なくありません。

その問題点の1つである海外からの資材輸入に対して、安全・確実かつ安価な物流の仕組みが不可欠であり、当社の確立した国境陸送混載便は、ミャンマーで生産する商品の資材調達に大きく貢献できるものと確信しています。また今後は、国境物流のさらなる安定化・低価格化・利便性の追求のため、民間保税倉庫第1号の運営を計画中です。

南海通運株式会社 HP: <http://www.nantsu.jp/>

【日本窓口連絡先】

南海通運株式会社 国際物流部 中原

TEL:0725-32-3241 MAIL: nakahara@nantsu.jp

【ミャンマー窓口連絡先】

南海通運(ミャンマー) : Ms.Pann Ei Pyu (ミャンマー語、英語可)

TEL:+95-1-518394 MAIL: oliviapannei@gmail.com (日本語メールでの問合せ可)

【タイ窓口連絡先】

南海通運(タイ) (GWI内) Ms.Ting Lim Ms.Nin (タイ語、英語可)

TEL:+66-89-4492437(Nin) MAIL: md@gwi-th.com (Ting Lim), impex@gwi-th.com (Nin)

< 本件に関するお問い合わせ先 >

南海通運株式会社 国際物流部 中原

TEL:0725-32-3241 MAIL:nakahara@nantsu.jp